常磐文藝

すゞらん

鈴木生

鈴蘭よ、愛らしき鈴蘭よ、私は今あなたを愛して居るのです……

ほつそりとした薄綠りのくきと純白な氣高い御身の姿がしかと私の心のカメラに燒きついてしまつて居るのです

無雜作に花瓶に挿しこまれても高尚な御身の姿のみはどこまでも愛らしい鈴蘭の姿なのね若しも私が野に舞ふ蝶ならばいつまでも身と心とつゞく限りあなたのそばで舞ひたいんですけど

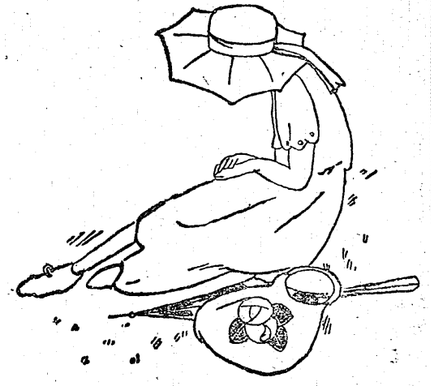
清いそうして氣高い御身の香りは惱ましい私しの胸の思ひを拭きとつてくれたのね深い惱みを拭きとつてなぐさめてくれるあなたの親切あなたの清い愛に對しほんとうに私は心から感謝を捧げるのです……

粗末な机の上に置かれてもあなたはそれを心に留めないのみか、かへつてあたゝかい愛の泉を私しの胸に與へてくれたのね

愛らしき鈴蘭よ無限の愛の所有者よ

私しの胸の中は今幸福に滿たされて居るのです

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番



初夏の印象
◇小紋絹と小紋錦紗
◇本セルに着尺モス
全盛な御召物に
◇美術的粹な洋傘を
御推奨いたします
三井呉服店
平町三丁目
電話三八番

齒科
平町土橋通り
原齒科醫院
電話卅一番

關内藥舗
助弟内關師劑藥
電話四〇番

清酒醸造元
鶴仙翁
石城郡平窪村
松吉屋本店
電話二四一番

御食書
御一人前五十錢
さしみ
吸物
燒肴
香の物
御飯

うどん。そば。天丼。親子丼。五もく。其他。
平町長橋町
料理一品
まつや

牛ト食糧問題
米食ノ大和民族ハ食糧難ニ陷ル
食糧ヲ水田ニノミ求ムルハ今ヤ不可ナリ
範ヲ陸田國ニ採レ且ツ盛ンニ牛ヲ養ヘ
而シテ肉ト乳トヲ食用セヨ
肉ハ草ニ在リ藁桿ニ在リ
牛二九八　三二三屋
電話三二三番

愚息公麿儀病氣の處藥石効なく廿四日午前〇時五分遂に死去仕り候
追つて葬儀は途中行列を廢して二十五日午後三時平町明賢寺に於て葬儀執行仕り候
父　横山顯

釋明

平材木町平パプテスト教會

一、六月十九日及び二十三日夕刊の磐城民報に掲載の我が教會に關する記事中、事實相違の點あるを以て左に世の誤解を解きます。

二、土盛、移轉、修繕等の工事を、四月三十日迄に完了せしむる約束を以て、千八百七十一圓〇五錢で小名濱商事會社に契約せしめ五百圓を手附金として濟ました

三、土盛が水平でなく、又移轉した家屋が著しく傾斜して居るので、修正を希望したるは事實であります。

四、十八日に遺憾の點が多くあるのですが、殘額を請求されたので明日支拂べき事を申出でしに對し憤然然らば貸家の札を貼るべき事を主張されたるも事實です。

五、十九日に九百圓を支拂ひ、廿日に四百七十一圓〇錢を完濟しました。

六、小名濱商事會社の名を以て、私の家屋に勝手に貸家の札を貼る事も、又銀治町通りに貸家の廣告を出するも眞に不思議でなりません。

七、三萬圓の寄附金云々といふ記事も無根で、九千圓はアメリカから、三千圓足らずは平町から漸く寄附金で建築が出來るだけです。

八、會計の内容、幼稚園の内部は斷じて些少もやましい事はありません、御望みの方には何時でも帳簿を御覽に入れます

常磐毎日新聞

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行一日五十錢
休刊日　毎月大祭日ノ翌日　祝日ノ翌日
印刷所　福島縣石城郡平町鍛冶町十一　本社專屬　磐陽社

發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
發行所　福島縣石城郡平町長橋町卅五番地　常磐毎日新聞社

六月二十四日夕刊

常磐論壇

聯立内閣の行詰

政界通人

加藤首相は現内閣の仕事は今後にあるといつてゐるが眞實は左樣に考へてをるものとすればその意氣はなるほど壯とするに足るかも知れぬけれど實際問題としては恐らく何人も首相のこの言を信賴して將來に何ものかを期待せんとするものはなからう、世間では聯立内閣の價値に對して十分なる試驗を行ひその到底不可能なる所以をも覺つて來た而して此の内閣が當初の聲明並に世間の期待に反して全く無爲無能のあることが主として不自然なる聯立内閣に基因し延へては政界をして永く不安裡に彷徨せしめ遂にその弊に堪えざらしむるに至つたものであると云ふそのことも今や一般に認めらるゝ所である蓋し多年主義政策を異にし來れる政黨が一時の權畧の爲め協調して見た所でそれが長續きする筈もなく又左樣な無理な内閣が活氣ある仕事のないといふのは寧ろ當然で與黨の關係が常にぐらぐらしてゐては政府は肝心の政務よりも與黨の協調保持といふことに專ら力を注ぐといふことにならざるを得ない現内閣は成立後の一年間をば最も力を此の與黨協調といふことに注ぐべく餘儀なくせられ主義の政策も之が爲め犧牲に供するもなほ憚らずといふ有樣であつた從つてその行ふ所は何事も不徹底に終り普選にしても行政整理にしても殊に貴族院改革問題の如きその他一つとして自ら聲明せし所を裏切らざるはなしで之れのみにても現内閣は既に引責に價するのであるが更らに政憲兩黨間の軋轢が今日の如く露骨に且已に實質的に協調は破壞して到底收拾すべからざるものとなれる以上所詮近き將來に何等か政局に打開が行れるであらう

この夏には……山か？……海か？

子供にはドチラがよいか

市原磐城病院長談

この夏兒童の夏期學校を開くなり又子供を連れて避暑にゆく親達の參考に『海を選ぶか山を選ぶか』に就て豫め知つて置く可き醫學上の定論を申し上げませう。

先づ山の特徴は

◇氣溫が低い。木蔭が深く空氣にオゾンを多量に含むから呼吸器の惡い兒によい。高地は一帶に氣壓が低いから矢張呼吸器病によい。又血液の血色素が増すから貧血症の兒に適する。山は大自然の懷中で靜寂であるから神經質の兒にふさはしい。

缺點として擧げられるのは

◇往復が不便、宿泊所に良い蒲が尠ない、飲食物（特に魚類の新鮮なもの）が尠い、晝夜の氣溫の差が烈しい暴風雨雷雨等があり寢冷ねし易い等である。長短さま〴〵であるが右の不便と云ふことさへ補へれば呼吸器の惡い兒虚弱の兒、貧血症神經質の兒を持つた親は山を選んだ方がよい。今迄の諸種の實驗によると三週間位の滯在で驚くべき健康を恢復した例は尠くなく、それも一時的でなく持續的に例へば冬の感冒にかゝらぬやうな効果がある、これに比べて海の方の特徴は

◇氣溫は高いが朝夕涼しい鹽分に富んだ海氣は皮膚をよくする海、水、水泳は皮膚及筋肉の發達を

れフレ計りで姿は見せぬ……

新任の學務課長樣

新任の大久保本縣學務課長が磐中や高女を視察の爲め二十三日午後一時廿五分平驛に着すと縣廳からのおフレに石城郡役所では晩餐會の手筈迄定めた◇到着の時間には武井上席や學務係を始め殊に滑川磐中校長は、胃けいれんで痛む腹を抱きながら平驛に出迎へたが學務課長の一行は見えない◇サテ汽車に乘り遅れたかと郡山や三春へ迄電話で問ひ合せたが課長は來なかつたとの一點張りにハテ面妖な話しと警察電話を利用して縣廳に聞いて見ると『石城郡の方は後廻しにしたから……』と一言で電話をガチャリと切る◇これには一同も開いた口がふさがらず『馬鹿にしてやがる』と地團太ふんで口惜しがつたがゴマメの歯ぎしり同樣で歯がたゝぬとは氣の毒至極な話しである

かう云ふ事實から云へば大、雜把に虚弱兒は山へ普通の子丈夫な子は海へ都會人は山の方が大體効果が多いやうである

公民教育の徹底を期さんとする主張

石城郡より提案

聯合青年團の幹部出縣

來る廿五日縣廳内にて本縣聯合青年團評議員會を開會し銀婚式紀念として兩陛下より下賜された金一萬八千圓の傳達式を行ふ筈であつて石城郡内からは平町大森勇、三森虎雄、鹿島村佐藤久義の三氏が列席し其席上石城郡よりの提出議案として公民教育の件を滿場に諮る事となつて居るが夫れは本縣内の青年團と處女會が協力して金十萬の基本金を造成し其金利一萬圓に依つて公民教育の費に充てんとするものである

東北六縣の水産會代表

小名濱に集る

本縣に於ける水産業は最近著しく進歩して來たが更に一層の發展を計るため本縣水産會では豫て計畫中であつた處これには各府縣水産會社代表者會を開き水産業の改良發展につき種々意見を交換するにしくはないと決し永井水産會長は來る七月九、十の兩日にわたり小名濱の縣水産試驗場に於いて次城以北青森縣までの六縣水産代表者第一回集會を開催する事になりそれ〴〵賛意を得たので目下準備中であるが特に當日は本省より松村水産局長の派遣をうけて水産改良に對する講演を乞ふべく二十三日縣では申請したがなほこの會は永久に繼續し毎年各地に開き本郡水産業發展のため大いに資する目的であると

平町の田苗

平町附近の田苗は本日頃終了の見込みであつたが降雨の爲め二三日は遲れた由

朝顔品評會

平町にて開く

石城郡朝顔會にては八月一日より三井呉服店々頭前にて朝顔品評會を開き一等賞には金盃及び三井呉服店寄贈の反物を呈する由にて參加者は一丁目裏東源之助宛當日迄に申込まれたしと

平地方に盜賊が横行

同一犯人か

最近平町を中心として郡下各地に盜賊横行し盜難事件頻々として起る爲め各警察署にては八方に刑事をとばし血眼となつて犯人逮捕に努めてゐるが昨夜として犯人の行方判らざるのみかその犯跡を察して同一犯人の仕事らしいので益々躍起となつて嚴探中の折柄また去る廿二日午後十一時頃石城郡四倉町大字本町飲食店淺草屋の臺所口の雨戸を蹴破つて覆面したる一名の怪賊忍び入り家人の熟睡中を機とし現金十數圓並に衣類數點を窃取逃走したので四倉署にては平署の應援を得目下犯人嚴探中

家庭欄

分娩後の心得（下）

又は周圍の臓器と癒着を起し不姙症の原因となるのである。夫で不姙症は産後の衛生を誤つたもので子供が一人つ切り生れないのも之れに依るのであ。次に此の反對に餘り早く起きて勞働するのもよくない。姙娠中は子宮が重くなる上に腔壁がゆるんでゐる爲めお産後餘り早く勞働すると腔外に子宮が出て來る病氣腔脱だとか子宮脱とかが夫で此の病氣は下流社會に有勝ちである。故に一週間目位に起床し二十日位靜養するが最も好いお産後の体温は平常よりも多少低くみやくも少くなるのが普通であるが二日位續いて三日頃には平常に返り乳房が張つて來るのが普通である。体温は三十八度位がよく、四十度にも昇つたり寒けがしたら用心せねばなりません

懸賞

（問題）――今晩有聲座の辯士が映畫の説明の中に『常磐毎日新聞』と申しますがそれはドノ映畫の説明の際にタレ辯士が申しますか？

お解りの方はハガキで『平町長橋町常磐毎日新聞社』にお知らせ下さい、當つた方には抽籤で特賞一名外五名に賞品を呈します、尚其氏名は廿七日の夕刊に發表します

男の節句

いつの頃からか

端午のお節句が參りました さだめて皆さんは愉快な一日をお送りになることでせう。さてこの五月五日の男子の節句はいつごろから行はれたかと申しますとそれはなか〳〵古いのです

或書物には

『光仁天皇の天應元年に蒙古より賊來る。良親王にこれを討つことを命じたまふ。親王すなはち藤森の社に祈りをこめ出陣したまふ。時に五月の五日なり忽ちに神風ふき來り敵船をくつがへしたれば

親王は

戰ふことなくして勝ちたまへり、このいはれをもちて今日に到るも五月五日は祭りをなし兵器をかざり、一般の民衆またしかり藤森のやしろは山州紀伊郡にあり、舍人親王の祠にて弓矢政所と稱するはすなはちこれなり。』云々といふことが

書いて

たしかなことはわかりませんが、かうした目出度い勝利のことが端午のお節句の初めであつたことは事實かと思はれます。『延喜式』のころにも武家には子供が生れてことにそれが

男子で

あると、武器をかざつて祝ふことがありあの藤原氏の『年中行事』のなかにも『印地うち』すなはち今日の『菖蒲たゝき』といふ類のことがあります。またその昔京で行はれて有名な加茂の競馬などは端午のお節句に深い

關係が

あります。とにかくこのお節句は可成古くから行はれてゐたものですがそれが男の子のお節句になつてしまつたのは德川の末朝であります。終りにこのお節句はほんとに

日本で

始つたものと思はれます支那ではショウキさまは始まりましたが端午のことはきかれません

兎の耳

生きて居る鳥を頭から食ふ男　石狩の國石狩町生れあだ名を山男と呼ばれて居る田村省三（四〇）は昨年五月頃から當別村の山奥に住んで猿や兎などを食つて命をつないで居たが、この程上川郡永山村で前澤久一方で飼つてあるアヒル二羽を捕へぎやあ〳〵鳴いて居るのを鹽をつけて頭からかじつて居る處を巡査に捕へられた、同人は顔も手足も毛でおほはれ荒なわを帶に諦めてゐる全く昔ばなしの仙人みたいな風体で物すごい笑ひ方をする警察では留置して調べてゐる